

低入札工事に係る工事コスト調査結果

平成18年度 北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事

公表資料一覧

No.	資料名	内 容	ページ数
1.	低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料	1
2.	比較表-1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表	2~3
3.	比較表-2	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表	4~6
4.	比較表-3	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表	7
5.	比較表-4	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表	8
6.	比較表-5	手持ち機械の当初と実績の比較表	9
7.	比較表-6	労務者確保計画の当初と実績の比較表	10~14
8.	比較表-7	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表	15
9.	比較表-8	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表	16
10.	諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳	17~20

低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費(仮設材含む)の低減	—
②	労務費の低減	—
③	機械経費の低減	自社保有船舶の活用(グラブ浚渫船(スパット式);25m ³ ・1隻、20m ³ ・1隻及び、土運船(全開式);1隻)
④	新材料・新技術	—
⑤	作業効率の向上	—
⑥	下請業者の協力	—
⑦	経費の低減	—
⑧	現場管理費低減	—
⑨	安全資機材低減	—
⑩	本支店経費の低減	—
⑪	利益の低減	—
⑫	受注実績の取得	—
⑬	売上の確保	—
⑭	その他	—

比較表-1

積算内訳書の比較表

工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
航路(-17m)												
浚渫工			153,999,026		111,000,000	72.1%		110,149,535		162,868,730	67.6%	
グラブ浚渫(1)	m3	33,774	48,964,530	33,774	35,000,000	71.5%	35,944	57,533,940	35,944	46,408,700	124.0%	
グラブ浚渫(2)	m3	31,930	105,034,496	31,930	74,700,000	71.1%	39,647	52,615,595	39,647	116,460,030	45.2%	
グラブ浚渫船拘束	式		0	1	1,300,000	#DIV/0!		0		0	#DIV/0!	
土捨工			117,881,598		97,000,000	82.3%		90,444,000		117,603,934	76.9%	
土運船運搬(1)	m3	33,774	25,600,692	33,774	20,000,000	78.1%	35,944	18,188,480	35,944	24,334,088	74.7%	
土運船運搬(2)	m3	31,930	31,961,930	31,930	30,000,000	93.9%	39,647	33,689,490	39,647	34,492,890	97.7%	
リクレーマ揚土	m3	33,774	40,359,930	33,774	31,200,000	77.3%	35,944	23,304,110	35,944	37,561,480	62.0%	
リクレーマ拘束	式	1	403,900	1	800,000	198.1%	1	1,200,000	1	403,900	297.1%	
残土処理	m3	33,774	19,555,146	33,774	15,000,000	76.7%	35,944	14,061,920	35,944	20,811,576	67.6%	
直接工事費			271,880,624		208,000,000	76.5%		200,593,535		280,472,664	71.5%	

工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
共通仮設費			59,774,795		49,200,000	82.3%		62,993,581		60,375,990	104.3%	
安全費	式	1	36,915,889	1	31,500,000	85.3%	1	50,046,901	1	36,928,470	135.5%	
安全対策	式	1	17,516,534	1	18,000,000	102.8%	1	34,498,437	1	17,529,115	196.8%	
準備工	地点	127	400,812	127	470,000	117.3%	127	571,500	127	400,812	142.6%	
探査工	m2	85,180	18,739,600	85,178	12,800,000	68.3%	85,178	13,229,500	85,180	18,739,600	70.6%	
報告書	式	1	258,943	1	230,000	88.8%	1	230,000	1	258,943	88.8%	
安全管理費	式						1	409,928				
水雷・傷害保険料	式	1	1,570,654	1	1,100,000	70.0%	1	1,107,536	1	1,570,654	70.5%	
水雷保険料	式	1	343,226	1	255,000	74.3%	1	179,636	1	343,226	52.3%	
傷害保険料	式	1	1,227,428	1	845,000	68.8%	1	927,900	1	1,227,428	75.6%	
共通仮設費(率)	式	1	20,581,363	1	16,000,000	77.7%	1	12,246,680	1	21,147,638	57.9%	
イメージアップ	式	1	706,889	1	600,000	84.9%	1	700,000	1	729,228	96.0%	
現場管理費			54,590,481		42,000,000	76.9%		53,839,503		56,035,518	96.1%	
工事原価			386,245,900		299,200,000	77.5%		317,426,619		396,884,172	80.0%	
一般管理費			36,886,483		25,800,000	69.9%		16,373,381		37,779,117	43.3%	
工事価格			423,132,383		325,000,000	76.8%		333,800,000		434,663,289	76.8%	

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工事名	北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事													
工事区分・工種・ 種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
航路(-17m)														
浚渫工				153,999,026			111,000,000				110,149,535			162,868,730
グラブ浚渫(1)	m3	33,774	1,450	48,964,530	33,774	1,037	35,000,000	35,944	1,601	57,533,940	35,944	1,291	46,408,700	
船舶損料	日				23	850,000	19,550,000	37	1,120,000	41,440,000				
燃料費	式				1		3,129,000	1		7,795,000				
材料代・修理代	式				1		2,500,000	1		2,437,910				
労務費・食費	式				1		5,750,000	1		5,861,030				
揚錨船(退避船)	日				23	350,000	4,900,000			0				
グラブ浚渫(2)	m3	31,930	3,290	105,034,496	3,190	2,383	76,000,000	39,647	1,327	52,615,595	39,647	2,937	116,460,030	
船舶損料	日				43	1,120,000	48,160,000	47	850,000	39,950,000				
燃料費	式				1		5,628,000	1		7,358,000				
材料代・修理代	式				1		2,500,000	1		1,275,145				
労務費・食費	式				1		10,750,000	1		4,032,450				
揚錨船(退避船)	日				43	350,000	8,750,000			0				
土捨工				117,881,598			97,000,000			90,444,000			117,603,934	
土運船運搬(1)	m3	33,774	758	25,600,692	33,774	593	20,000,000	35,944	506	18,188,480	35,944	677	24,334,088	
土運船運搬(2)	m3	31,930	1,001	31,961,930	31,930	940	30,000,000	39,647	850	33,689,490	39,647	870	34,492,890	
リクレーマ揚土	m3	33,774	1,195	40,359,930	33,774	924	31,200,000	35,944	648	23,304,110	35,944	1,045	37,561,480	
リクレーマ拘束	式	1	403,900	403,900	1		800,000	1		1,200,000	1	403,900	403,900	
残土処理	m3	33,774	579	19,555,146	33,774	446	15,000,000	35,944	391	14,061,920	35,944	579	20,811,576	

工事区分・工種・ 種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
直接工事費				271,880,624			208,000,000			200,593,535			280,472,664	
共通仮設費				59,774,795			49,200,000			62,993,581			60,375,990	
安全費	式	1		36,915,889	1		31,500,000	1		50,046,901	1		36,928,470	
安全対策	式	1		17,516,534	1		18,000,000	1		34,498,437	1		17,529,115	
準備工	地点	127	3,156	400,812	127	3,701	470,000	127	4,500	571,500	127	3,156	400,812	
探査工	m2	85,180	220	18,739,600	85,178	151	12,800,000	85,178	173	13,229,500	85,180	220	18,739,600	
報告書	式	1		258,943	1		230,000	1		230,000	1		258,943	
安全管理費	式							1		409,928				
水雷・傷害保険料	式	1		1,570,654	1		1,100,000	1		1,107,536	1		1,570,654	
水雷保険	式	1		343,226	1		255,000	1		179,636	1		343,226	
傷害保険	式	1		1,227,428	1		845,000	1		927,900	1		1,227,428	
共通仮設費(率)	式	1		20,581,363	1		16,000,000	1		12,246,680	1		21,147,638	
回航費・保険料	式							1		3,827,500				
技術管理費	式							1		2,329,286				
確認探査費	式							1		350,000				
GPS使用料・他	式							1		1,979,286				
営繕費	式							1		5,422,694				
現場事務所費	式							1		4,500,000				
車両損料	式							1		350,800				
燃料・通行料	式							1		188,294				
作業員休憩所	式							1		134,000				
旅館代	式							1		249,600				
役務費	式							1		487,200				
水道・光熱費	式							1		487,200				
その他	式							1		180,000				
イメージアップ	式			706,889			600,000	1		700,000			729,228	

工事区分・工種・ 種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
現場管理費				54,590,481			42,000,000			53,839,503			56,035,518	
労務管理費	式							1		156,000				
退職金	式									150,000				
保険料	式							1		12,000				
租税公課	式									15,000				
法定福利	式							1		4,220,000				
福利厚生費	式									1,286,000				
通信交通費	式							1		799,000				
寄付金	式							1		322,000				
補償費	式							1		210,000				
職員給料	式							1		8,022,000				
外注一般管理費等	式							1		22,661,000				
その他	式							1		15,986,503				
工事原価				386,245,900			299,200,000			317,426,619			396,884,172	
一般管理費				36,886,483			25,800,000			16,373,381			37,779,117	
工事価格				423,132,383			325,000,000			333,800,000			434,663,289	

比較表-3

手持ち資材の比較表(主要資材)

<p>記入要領</p>	<p>1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。</p>												
<p>工事名</p>	<p>北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事</p>												
<p>品名</p>	<p>規格・型式</p>	<p>単位</p>	<p>使用工種等</p>	<p>入札時(当初の予定)</p>				<p>工事完成時(実績)</p>				<p>官単価※ (最終)</p>	<p>備考</p>
<p>該当なし</p>				<p>手持ち 数量</p>	<p>単価</p>	<p>本工事での 使用予定量</p>	<p>不足数量の 手当方法</p>	<p>手持ち 数量</p>	<p>単価</p>	<p>本工事での 使用量</p>	<p>不足数量の 手当方法</p>		

比較表-4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

<p>記入要領</p> <p>1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2)官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3)総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4)実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5)入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)とし、軽微な資材は省略する。 6)※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。</p>														
工事名		北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事												
工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)					工事完成時(実績)					※ 官単価 (最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名				
					業者名	所在地	入札者との 関係			業者名	所在地	入札者との 関係		
該当なし														

比較表一5

手持ち機械の比較表(主要機械)

記入要領	1) 本様式には、主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入して下さい。 2) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 3) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要機械相当品(各機械経費が工事費の約0.3%以上の機器)のみでよい。 4) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。												
	工事名		北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事										
	機械名称	規格・型式・能力・年式	単位	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)			官単価※ (最終)	備考	
			数量	単価	メーカー名	現在の利用状況	数量	単価	メーカー名				
スパッド式グラブ浚渫船	25m3級 S63.9	日	1	850,000	SKK	無し	1	850,000	SKK	1,340,000	自社損料 官積規格は23m3級		
スパッド式グラブ浚渫船	20m3級 H13.9	日	1	1,120,000	SKK	無し	1	1,120,000	SKK	521,000	自社損料 官積規格は9m3級		
全開式土運船	900m3積 H12.5	日	1	127,000		無し	1	127,000		266,000	自社損料 官積規格は1,300m3積		
測量船兼交通船	600ps H9.12	日	1	30,000		無し	1	30,000		-	自社損料 官積は無計上		

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。								
工事名	北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事								
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
浚渫工	船団長			自社雇用 (株)池畑組			(株)池畑組 自社雇用	21,500	
		()	(20)		(27,000)	(2)			
	オペレータ						(株)池畑組 自社雇用	16,200	
					(19,000)	(2)			
	船員				15,000	10	協力会社 4社	16,200	作業員契約書
					(14,000)	(6)	(株)池畑組 自社雇用		

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。								
工事名	北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事								
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
土捨工	世話役				18,000	2	1次下請 大和海工(株)	-	土運船運搬
	高級船員				21,000	7	1次下請 大和海工(株)	21,500	土運船運搬
	普通船員				16,000	8	1次下請 大和海工(株)	16,200	土運船運搬

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。								
工事名	北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事								
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
土捨工	世話役				21,000	1	2次下請 家島建設株	-	リクレーマ揚土
	船団長				22,000	1	2次下請 家島建設株	21,500	リクレーマ揚土
	運転手				20,000	1	2次下請 家島建設株	16,200	リクレーマ揚土
	船員				19,000	5	2次下請 家島建設株	16,200	リクレーマ揚土

労務者の確保計画の比較表

記入要領		1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。							
工事名		北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事							
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
土捨工	世話役				12,000	1	3次下請 脇の浦響灘開発興業(株)	-	揚土後押土
	オペレータ				16,000	3	3次下請 脇の浦響灘開発興業(株)	15,100	揚土後押土
	運転手				16,000	5	3次下請 脇の浦響灘開発興業(株)	12,500	揚土後押土
	誘導員				16,000	1	3次下請 脇の浦響灘開発興業(株)	-	揚土後押土

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。								
工事名	北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事								
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
潜水探査工	世話役				13,250	2	1次下請 日本ジタン㈱	27,700	
	潜水土				25,000	12	1次下請 日本ジタン㈱	27,700	
	送気員				12,000	24	1次下請 日本ジタン㈱	17,600	

比較表-7

工種別労務者配置計画の比較表

記入要領	1) 職種名は例示したもので、該当する職種名に変更して記入して下さい。 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分してください。 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。																			
工事名	北九州港(戸畑地区)航路(-17m)外1件浚渫工事																			
工種	種別	入札時(当初の予定)								工事完成時(実績)								備考		
		配置予定人数								配置人数										
		船団長	普通船員(特殊含)	オペ	世話役	運転手	潜水土	送気員	連絡員	計	船団長	普通船員(特殊含)	オペ	世話役	運転手	潜水土	送気員		連絡員	計
浚渫工	グラブ浚渫	2	16	2					20	2	16	2					20			
	警戒船										16							16		
土捨工	押船										15		2					17		
	リクレーマ船									1	5	1	1					8		
	揚土後運搬押土										1	3	1	5				10		
潜水探査工	潜水探査												2		12	12	12	38		
	警戒船														10			10		

比較表-8

建設副産物の搬出等の比較表

記入要領	1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。 2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。 3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみならず、収集、運搬等に要した費用を除く。 4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。					
	工事名					
	建設副産物の名称	入札時(当初の予定)		工事完成時(実績)		官積算価格* (最終)
受け入れ予定箇所		受け入れ価格	受け入れた箇所	受け入れた価格		
建設発生土(浚渫土砂)	下関人工島	当局負担	下関人工島	当局負担	-	過掘分業者負担
	響灘土砂処分場	当局負担	響灘土砂処分場	当局負担	-	過掘分業者負担

工事費

詳細は、マニュアル41～57ページを参照してください。

Ⅲ 工事費内訳		金額単位:千円			1	2
注)消費税抜きで記入してください		元請+元請外注	元 請	元請外注 合計	日本ジタン(株) 潜水探査工	大和海工(株) 土捨工
①	直接工事費	200,593	123,169	77,424	0	77,424
	(1) 材料費	19,770	18,866	904	0	904
	(2) 労務費	12,385	9,893	2,492	0	2,492
	(3) 機械機具等損料	168,438	94,410	74,028	0	74,028
	(4) 貸与機械等現場修理・管理費	0	0	0	0	0
	(5) 直接経費	0	0	0	0	0
	A 特許使用料	0	0	0	0	0
	B 光熱電力使用料	0	0	0	0	0
	(6) 特殊経費	0	0	0	0	0
②	間接工事費	116,833	77,757	39,076	15,500	23,576
	(1) 共通仮設費	62,993	48,777	14,216	14,031	185
	イ 運搬費	0	0	0	0	0
	A 器機材	0	0	0	0	0
	1 仮設材①	0	0	0	0	0
	2 仮設材②	0	0	0	0	0
	3 仮設材③	0	0	0	0	0
	4 敷鉄板類①	0	0	0	0	0
	5 敷鉄板類②	0	0	0	0	0
	6 敷鉄板類③	0	0	0	0	0
	7 橋梁等架設支保工	0	0	0	0	0
	8 橋梁用架設タワー等	0	0	0	0	0
	9 橋梁用仮設桁設備	0	0	0	0	0
	10 積み込み取り卸し費	0	0	0	0	0
	11 トンネル用スライドセントル	0	0	0	0	0
	12 その他	0	0	0	0	0
	B 建設機械20t未満	0	0	0	0	0
	① 自走・貨物自動車等 による運搬	0	0	0	0	0
	② 日々回送による運搬	0	0	0	0	0
	③ 現場内小運搬	0	0	0	0	0
	C 建設機械20t以上	0	0	0	0	0
	① 貨物自動車等 による運搬	0	0	0	0	0
	② 自走 による運搬	0	0	0	0	0
	③ 日々回送による運搬	0	0	0	0	0
	④ 現場内小運搬	0	0	0	0	0
	ロ 準備費	0	0	0	0	0
	A 準備・測量等	0	0	0	0	0

費目	元請+元請外注	元請	元請外注 合計	1	2
				日本ジタン(株) 潜水探査工	大和海工(株) 土捨工
B その他	0	0	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	0	0	0	0	0
ニ 安全費	50,046	36,010	14,036	14,031	5
安全留意度 「建設工事公衆災害防止対策要綱」に ついて選択		2 通常の安全対策			
A 安全管理費	409	409	0	0	0
① 工事区域内全般の安全管理上の監 視、あるいは連絡等に要した費用(稼 働日の保安要員等の費用を含む)	0	0	0	0	0
② 不稼働日の保安要員等の費用	0	0	0	0	0
③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード 等の安全施設類の設置、撤去、補修に要 した費用及び使用期間中の損料	0	0	0	0	0
④ 夜間作業を行う場合における照明に 要した費用	0	0	0	0	0
⑤ 酸素欠乏症の予防に要した費用	0	0	0	0	0
⑥ 河川、海岸工事における救命艇に要 した費用	0	0	0	0	0
⑦ 粉塵作業の予防に要した費用	0	0	0	0	0
⑧ 長大トンネル等における防火安全対 策に要した費用	0	0	0	0	0
⑨ 安全用品等の費用	116	116	0	0	0
⑩ 安全委員会等に要した費用	293	293	0	0	0
⑪ 国土交通省(港湾・航空)発注工事に おける再圧装置設置、撤去、維持管 理に要した費用	0	0	0	0	0
B 交通誘導員等	0	0	0	0	0
C 鉄道空港安全管理	0	0	0	0	0
D 美装化等	0	0	0	0	0
E 高圧作業予防	0	0	0	0	0
F 航路安全標識・警戒船	34,498	34,498	0	0	0
G ダム発破・監視費	0	0	0	0	0
H トンネル工事における呼吸用保護具	0	0	0	0	0
I その他	15,139	1,103	14,036	14,031	5
ホ 役務費	487	487	0	0	0
A 土地の借上費	0	0	0	0	0
B 電力用水等基本料	487	487	0	0	0
ハ 技術管理費	2,329	2,329	0	0	0
A 品質管理費等	0	0	0	0	0
B 特別な品質管理	0	0	0	0	0

費目	元請+元請外注	元請	元請外注 合計	1	2
				日本ジタン(株) 潜水探査工	大和海工(株) 土捨工
C 現場条件等費用	0	0	0	0	0
D 品質証明(社内検査)に要した費用	0	0	0	0	0
E 各種調査等	0	0	0	0	0
F 各種台帳等	0	0	0	0	0
G その他	2,329	2,329	0	0	0
ト 営繕費	5,423	5,423	0	0	0
A 建物費	0	0	0	0	0
B 借上費	0	0	0	0	0
C 宿泊費	250	250	0	0	0
D 労働者送迎費	0	0	0	0	0
E 監督員詰所等	4,500	4,500	0	0	0
F 美装化等1	0	0	0	0	0
G 美装化等2	0	0	0	0	0
H その他	673	673	0	0	0
I 労働者海上輸送費	0	0	0	0	0
チ その他	4,708	4,528	180	0	180
リ 技術者間接費(電気工事、光ケーブル工事の場合)	0	0	0	0	0
(2) 補償費	0	0	0	0	0
(3) 現場管理費	53,840	28,980	24,860	1,469	23,391
イ 労務管理費	156	156	0	0	0
ロ 安全訓練等費用	0	0	0	0	0
A 安全・衛生に要した費用	0	0	0	0	0
B 研修訓練等に要した費用	0	0	0	0	0
ハ 租税公課	15	0	15	15	0
ニ 社員等従業員給料手当	8,022	6,240	1,782	746	1,036
ホ 退職金	150	0	150	150	0
ヘ 保険料	12	12	0	0	0
① 火災保険	0	0	0	0	0
② 工事保険	0	0	0	0	0
③ 自動車保険	0	0	0	0	0
④ 組立保険	0	0	0	0	0
⑤ 法定外の労災保険	0	0	0	0	0
⑥ その他損害保険	12	12	0	0	0
ト 法定福利費	4,220	4,005	215	99	116
A 労災保険料	521	509	12	0	12
B 雇用保険料	492	475	17	11	6
C 健康保険料	867	799	68	33	35
D 厚生年金保険料	1,319	1,201	118	55	63
E 建退共制度掛金	649	649	0	0	0
F 船員保険料	372	372	0	0	0
チ 福利厚生費	1,286	1,286	0	0	0

費目	元請+元請外注	元請	元請外注 合計	1	2
				日本ジタン(株) 潜水探査工	大和海工(株) 土捨工
リ 補償費	210	210	0	0	0
又 通信交通費	799	764	35	35	0
ル 交際費	0	0	0	0	0
ヲ 寄付金	322	322	0	0	0
ワ その他	15,987	15,985	2	0	2
カ 外注一般管理費等	22,661		22,661	424	22,237
③ 外注費(下請欄は、外注一般管理費等の自動計算値)		116,500	外注一般の計算値=>	424	22,237
④ 一般管理費等 自動計算値 = 16374	16,374	16,374			
⑤ 鋼橋等工場製作費(電気工事・光ケーブル工事の場合は、機器費)	0	0	0	0	0
⑥ 別途調査等工事価格	0	0	0	0	0
⑦ 工事価格	333,800	333,800	116,500	15,500	101,000
⑧ 消費税相当額(下請欄は、下請工事価格の自動計算値)	16,690	16,690	工事価格の計算値=>	15,500	101,000
⑨ 工事請負金額	350,490	350,490			
⑩ 営繕費のうち、地代に要した費用	0	0	0	0	0
⑪ 準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用	0	0	0	0	0
⑫ 仮設費(直工)にてイメージアップに要した費用	700	700	0	0	0
⑬ 二次下請負者の数	1		1	0	1
⑭ 二次下請負者の外注一般管理費等の合計	0		0	0	0
⑮ 二次下請負者への発注工事価格の合計	0		0	0	0
⑯ 延実人員数と作業日数					
(1) 労働者延人員	706	0	706	0	706
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	0	0	0	0	0
(3) 技能関係等従事者延人員	372	331	41	41	0
(4) 技術事務関係社員等従業員延人員	140	24	116	41	75
(5) 作業日数			59	17	42
⑰ 現場管理費_その他のうち、事務用品費に要した費用	14	14	0	0	0
⑱ 現場管理費_その他のうち、動力・用水光熱費に要した費用	0	0	0	0	0
⑲ 安全費_その他のうち、水雷・傷害保険に要した費用	1,103	1,103	0	0	0

工事名
北九州港(戸畑地区)航路(-17m) 外1件浚渫工事